**GitHub** 

# Copilot Agent ハンズオン

Copilot Agents で生産性を飛躍的に向上

Coding Agent & Code Review Agent



#### Agenda

- ⊘ ハンズオンの概要と目標
- ⊘ セットアップ要件
- Ø GitHub Copilot Code Review Agent の紹介
- ⊘ 実習演習(5つの演習)
- ⊘ まとめと次のステップ



### ハンズオンの概要と目標

GitHub Copilot Code Review Agent を活用してコードレビューを自動化し、開発ワークフローの効率を向上させることを学びます。

#### 達成すること:

- 自動コードレビューワークフローのセットアップ
- 品質改善プロセスの実装
- バグ検出・解決システムの設定

前提条件: GitHub Copilot for Business ライセンスが有効化されていること

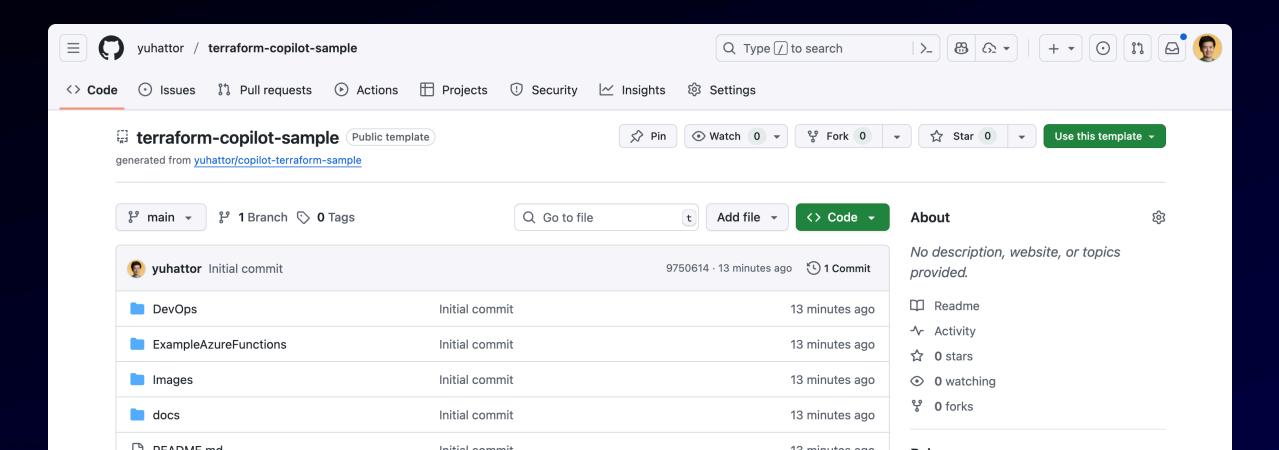
![プレースホルダー: Code Review Agent ダッシュボードインターフェース]



### Copilot Coding Agent の利用

サンプルリポジトリをテンプレートとして利用して、ハンズオンを進めます。

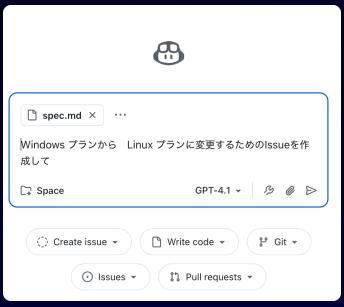
- リポジトリにアクセスします: ttps://github.com/yuhattor/terraform-copilot-sample
- Use this template ボタンをクリックして、自分のアカウントにコピーします



### Copilot Coding Agent で実装をします

- Windows プランから Linux プランにコードを編集してみましょう
- ◇ docs/spec.md にある Spec ドキュメントを確認して、Issue を作成します
- コードViewにある GitHub Copilot アイコンをクリックして、Copilot Chat を起動します
- ⊘ Copilot と一緒に Issue を作成しましょう Windows プランから Linux プランに変更するための Issueを作成して と Copilot に問いかけましょう
- ⊘ Issue を作成したら、GitHub Copilot にアサインします





### Copilot Code Review Agent とは?

#### 紹介

GitHub Copilot があなたのコードを解析し、即座に適用可能なアクションブルな提案とともに、インテリジェントなフィードバックを提供します。

#### 主要機能

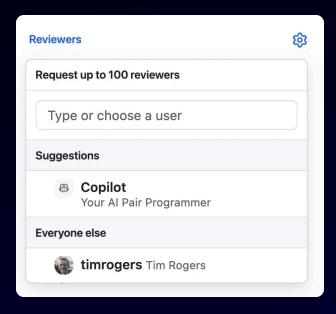
- ⊘ 自動セキュリティ脆弱性検出
- コード品質と保守性の分析
- パフォーマンス最適化の推奨
- ⊘ ベストプラクティスの強制

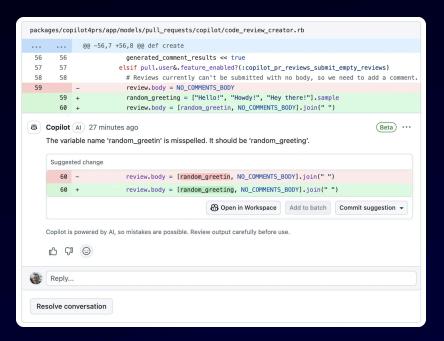
統合: GitHub のネイティブ pull request ワークフローとシームレスに連動

### Copilot Code Review の使用方法

#### 手動レビュープロセス

- 1. GitHub.com で pull request を作成または既存のものに移動
- 2. Reviewers メニューを開き、Copilot を選択
- 3. 分析完了を待機(通常30秒以内)
- 4. Copilot の詳細なコメントと提案をレビュー





### Copilot Code Review の使用方法

#### レビューの動作

- "Comment" レビューを提供 ("Approve" や "Request changes" ではない)
- ⊘ マージをブロックしたり、必要承認数にカウントされません
- コメントは人間のレビュアーフィードバックと同様に機能

### Copilot への再レビューリクエスト

#### 再レビューが必要な場合

以前にレビューされた pull request に変更をプッシュした後、Copilot は自動的に再分析しません。

#### プロセス

- 1. Reviewers メニューの Copilot 名の隣にあるリフレッシュボタンをクリック
- 2. 更新された分析を待機
- 3. 新しいフィードバックを以前の提案と比較



ベストプラクティス: 主要なコード変更やセキュリティ修正に対応した後に再レビューをリクエスト

### 演習 1: Fork と手動レビュー

目標: サンプルリポジトリで手動 Copilot コードレビューを練習

#### 手順

- 1. コードを含むサンプルリポジトリを作成 またはフォーク (https://github.com/yuhattor/terraform-copilot-sample)
- 2. 意図的なコード問題を含む新しいブランチを作成
- 3. pull request を開き、手動で Copilot レビューをリクエスト
- 4. フィードバックを分析し、提案された改善を適用

成功基準: Copilot がアクションブルな提案とともに少なくとも3つのコード品質問題を特定

### 演習 2: Copilot への再レビューリクエスト

目標: 初期フィードバックが不十分な場合の適切な再レビューリクエスト方法を学習

#### 手順

- 1. 特定された問題とその改善方法を分析
- 2. 分析に基づいて PR にコメントを追加
- 3. 変更後に GitHub Copilot に再レビューをリクエスト

成功基準: Copilot があなたのコメントに対応した更新されたフィードバックを提供

### 自動レビューの有効化

#### 設定オプション

- ⊘ 個人: あなた自身の pull request に対する自動レビュー
- ⊘ Repository レベル: 特定リポジトリのすべての新しい pull request
- Organization レベル: パターンマッチングによる複数リポジトリ

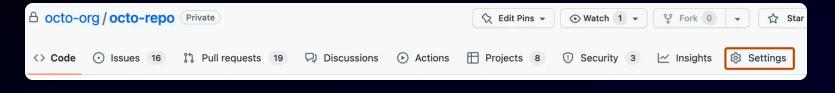
#### メリット

- ⊘ 一貫したコード品質の強制
- すべての pull request への即座のフィードバック
- ⊘ 手動レビューのオーバーヘッド削減

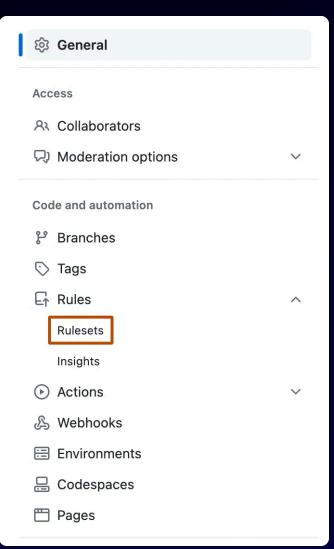
### 自動レビューの設定: 単一リポジトリ (1)

#### Branch Ruleset の作成

1 リポジトリの Settings タブに移動



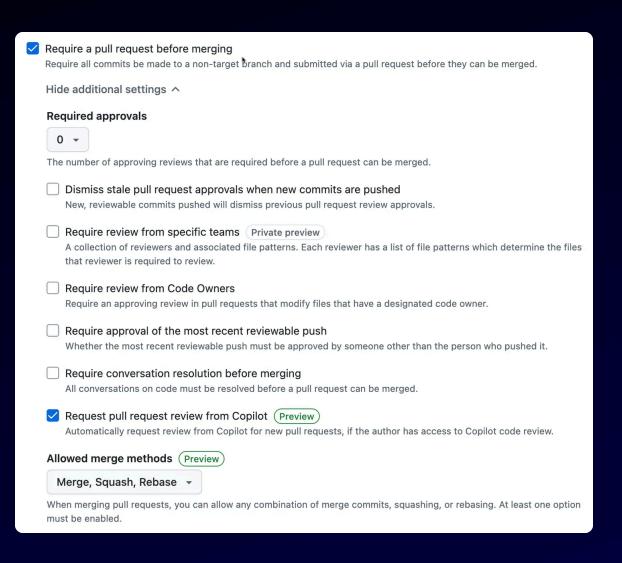
- 2 左サイドバーで Rules → Rulesets を選択
- 3 New ruleset → New branch ruleset をクリック



## 自動レビューの設定: 単一リポジトリ (2)

### Copilot レビューの有効化

- 1. ruleset 名を設定し、Enforcement Status を Active に設定
- 2. Target branches で適切なブランチカバレッジを選択
- 3. Require pull request before merging を有効化
- 4. Request pull request review from Copilot をチェック
- 5. Create をクリックして有効化

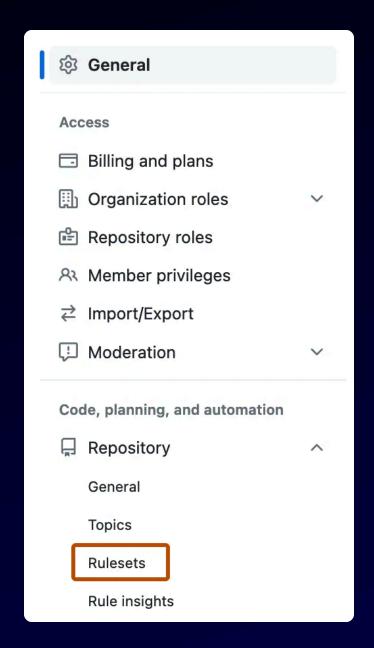


### Organization レベルの設定

#### Organization Branch Ruleset の作成

- 1. プロフィールメニューから Your organizations にアクセス
- 2. organization の Settings に移動
- 3. "Code, planning, and automation" の下にある Repository → Rulesets を選択
- 4. organization スコープで New branch ruleset を作成
- 5. パターンマッチングを使用して Target repositories を定義
- 6. ブランチターゲティングと pull request 要件を設定
- 7.Copilot レビュー要件を有効化

<mark>パターン例:</mark> \*feature は "feature" で終わるすべてのリポジトリに マッチ



### 演習 3: Repository 自動レビューの有効化

目標: リポジトリに対する自動 Copilot レビューを設定

#### タスク

- 1 管理者アクセス権を持つ3つのリポジトリを特定
- 2. 各リポジトリで自動 Copilot コードレビューを有効化
- 3. テスト pull request を作成して設定をテスト
- 4. 自動レビューが起動することを確認

代替案: 権限が不足している場合、ビジネス上の正当化とともにチーム有効化をリクエストする issue を作成

### カスタム指示によるレビューのカスタマイズ

設定ファイル: リポジトリルートの .github/copilot-instructions.md

#### カスタマイズ機能

- 言語固有のレビュー設定
- セキュリティチェックリストの強制
- コードスタイルと可読性基準
- パフォーマンス最適化の重点領域

- コードレビューを実行する際は、日本語 で回答してください。

ファイルスコープ: 指示は Copilot Chat と Code Review Agent の両方に適用

### カスタム指示の例

# Copilot レビュー指示

#### ## セキュリティ重点

- SQL インジェクション脆弱性をスキャン
- 入力サニタイゼーションプラクティスを検証
- |- 認証と認可をチ<u>ェック</u>|

#### ## コード品質基準

- 一貫した命名規則を強制
- コード重複の機会を特定
- パフォーマンス最適化を提案

#### ## チームの設定

- サイレント失敗よりも明示的エラーハンドリングを優先
- 可能な場合は JavaScript より TypeScript を推奨
- 保守性と可読性に焦点

### 演習 4: カスタムレビューインストラクションの作成

目標: コードベースに合わせたレビューガイドラインを実装

#### 手順:

- 1. リポジトリに .github/copilot-instructions.md を作成
- 2 プロジェクトに関連する3-5の具体的なレビュー基準を定義
- 3. セキュリティ、品質、チーム設定ガイドラインを含める
- 4. 新しい pull request で指示をテスト
- 5. Copilot がカスタム基準に従うことを確認

成功メトリクス: Copilot レビューが指定されたガイドラインを反映し、プロジェクト固有の問題を捕捉

